

事業名	東大和市自転車用ヘルメット購入費補助事業										
担当部署	部	まちづくり部	課	都市基盤課	係	交通対策係					
基本施策	3 安全・安心で利便性が高いまちづくり										
分野別施策	施策3	-	4	道路、公共交通							
	-										
展開方向	<input type="checkbox"/> 誰もが利用しやすい道路環境の整備										
	<input checked="" type="checkbox"/> 交通安全対策の推進										
	<input type="checkbox"/> 持続可能な公共交通ネットワークの構築										
予算科目	会計	一般	款	2	項	1	目	9	事業番号	2	
事業名称	交通安全推進事業							継続・新規	継続して実施している事業		

**A) 事業目的・概要**

事業の目的	①	令和5年4月1日に乗車中の着用が努力義務化された自転車用ヘルメットの着用を促進するため
	②	自転車の安全利用の啓発を行うため
	③	
対象者	市内に所在する自転車用ヘルメットを販売する店舗で、補助金の交付決定を受けた店舗	
主な取組み	①	対象者が販売した自転車用ヘルメットの割引額(1個あたり2,000円)を市が補助
	②	購入者に対し、市が作成した自転車安全利用啓発冊子による学習を補助条件として設定
	③	市報、市公式ホームページ、自転車等駐車場へのポスター掲示等による制度のPRを実施

**B-1) 過去の成果など ※事業の成果や結果を表す数値があれば記入してください。**

実績・指標の説明		単位	令和4実績	令和5実績	令和6実績
①	補助対象となった自転車用ヘルメットの個数	個	-	778	807
②	(令和5年度・6年度は上限1,000個)				
③					
④					
⑤					

**B-2) 事業コスト(単位:千円)**

	令和4年度決算額	令和5年度決算額	令和6年度決算額	令和7年度予算額
事業にかかった総経費	—	1,556	1,614	1,000

**B-3) その他事業に関連する事項(当該業務に割いた職員の労働時間数、時間外勤務時間、市民からの意見・反応など)**

○当該業務に係る職員の労働時間等(計189時間程度/年) ・交付決定の処理、申込書・自転車安全利用啓発冊子等の印刷・配布、補助金交付処理、補助金確定処理、PRや月ごとの個数確認、その他対象者との調整
○市民からの意見・反応など 月に数件、内容についての問い合わせがあるが、特に意見・要望は寄せられていない
○予算措置 令和5,6年度 補助対象個数1,000個×補助額2,000円/個=20,000千円 令和7年度 補助対象個数 500個×補助額2,000円/個=10,000千円

**C) 当該事業をどうしたいか(主管課の案・望む意向や方向性など)**

	<input type="checkbox"/> 拡大	<input checked="" type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 変更・見直し	<input type="checkbox"/> その他
①	令和7年度をもって本補助事業を廃止したい			
②				
③				
④				
⑤				
上記の考えに至った理由・経緯・背景など または実施することでどのような効果が得られるか、将来的な展望 など				
①	令和5年度及び令和6年度は東京都の補助(補助率1/2)があったが、令和7年度から本事業は補助対象外			
②	令和7年度は市単独事業として、補助対象個数を上限500個で実施(令和7年9月末執行数376個分)			
③	制度改正の目的である自転車ヘルメット着用の促進については一定程度果たされたと考えられる			
④	なお、補助事業によって得られる効果(自転車用ヘルメットの着用率など)を定量的に把握することは困難			
⑤				
⑥				
⑦				
⑧				
⑨				
⑩				

**D) 当該会議で聞きたいこと ※簡潔に記入してください。**

①	本補助事業を廃止することの是非
②	
③	
④	
⑤	
⑥	

**E) 評価会議での意見・助言等**

①	本事業については令和8年度で廃止で問題ない。
②	事業廃止後は、ヘルメット着用を啓発する取組みについて、検討していく必要がある。
③	
④	
⑤	
⑥	

**東大和市民**の方は、**自転車用ヘルメット**を  
**2,000円引き**で購入できます。  
**命を守るためヘルメットを着用**しましょう。

**対象者** 次の①～③**全てに該当する方**

- ①東大和市内に住所を有する方
- ②自身が着用するための自転車用ヘルメットを購入する方
- ③市の自転車安全利用啓発冊子で学習をした方  
(冊子は指定店舗で入手できます)

このポスターが  
目印なんだべえ～



**購入方法**

- ① 市内の指定店舗  
(裏面参照)に行く。
- ② 自転車用ヘルメットを選ぶ。



対象になるヘルメットは、安全基準(※1)を満たした、  
通常の販売価格が税込み**3,000円以上の新品のもの**だべえ～

※1 安全基準…SG・JCF・CE(EN1078)・GS・CPSC(CPSC1203)等の自転車乗車用の認証を受けていること。

- ③ 本人確認書類(※2)を提示して、「東大和市内に住所を有する」ことを証明し、申込書を記入。



※2 本人確認書類…運転免許証、マイナンバーカードなどで名前と住所が確認できるもの。

- ④ 配布される自転車安全利用啓発冊子をよく読む

この機会に正しい乗り方を  
学んだべえ～



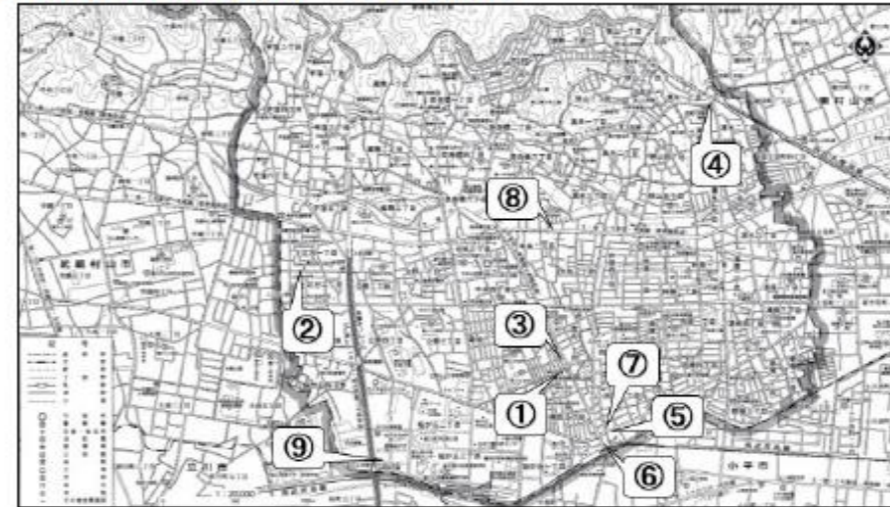
【自転車安全利用啓発冊子】

**期間**

令和7年4月1日(火)～令和8年3月31日(火)

※期間中でも予算がなくなれば終了となります。

【市内の指定店舗】(令和7年4月1日時点)



番号	店舗名	所在地	電話番号	営業時間	休業日	その他
①	小樽自転車店	南崗2-111-4	042-561-0722	9時30分から19時	無休	
②	サイクルショップ サイトウ	上北台1-902-178	042-843-6656	11時から20時	火曜日定休	注文販売のみ
③	十文字サイクル	南崗2-79-13	042-561-3816	10時から18時	火曜日定休	
④	多摩湖のじてんしゃ屋さん Pokito a Poko	清水3-800-6	042-569-8460	10時から18時	水曜日定休	
⑤	ちよだサイクル	向原6-1201-2 OSEビル	042-563-4789	11時から19時	無休	注文販売なし
⑥	ブリーズサイクル 東大和店	向原6-1412-18	042-565-1411	10時から20時	無休	
⑦	YSP東大和南	南崗4-20-18	042-561-1075	10時から19時	第1・第3月曜日、火曜日定休	
⑧	ダイワサイクル 東大和店	中央2-556-1	042-563-8678	10時から20時	12月31日、1月1日	
⑨	玉川上水のじてんしゃ屋さん Poko Cycle	桜が丘3-44-32 コーポビル玉川上水3号棟1階	042-843-6578	10時から18時	火、水曜日定休	

※ 変更が生じた場合は、市の公式ホームページにてお知らせします。

東京都自転車安全学習アプリ「輪トレ(りんトレ)」を是非ご利用ください。

東京都が制作した、スマートフォンで手軽に自転車のルール・マナーの学習や自転車走行の体験学習することができる無料アプリです。

右の二次元コードからダウンロードできます。



アプリ上のテストに合格し、合格証が発行されると、限定の特典を受けることができます。

<https://www.seikatubunka.metro.tokyo.lg.jp/tomin.anzen/application/000001823.html>

**問い合わせ先**

● 東大和市 都市基盤課 ☎ 電話:042-563-2111(内線1256)

リアルタイム事務事業評価調書②【実績報告・取組予定】

令和 8 年 3 月 31 日 作成

事業名	東大和市自転車用ヘルメット購入費補助事業					
担当部署	部	まちづくり部	課	都市基盤課	係	交通対策係

A) 会議を踏まえて、今年度中に取り組むことや事務の方向性など

または会議後に対応したこと、参考としたことなど

①	本事業は令和7年度で廃止とし、事業廃止後は安全教室等の機会を捉えてヘルメット着用啓発を推進していく。
②	
③	
④	
⑤	

B) R7年度の実績(事業の実績を示す数値又は事業の目標としたものの結果)

実績の説明	単位	目標値	R7実績値	【参考】R6実績値
① 補助対象となった自転車用ヘルメットの個数(上限500個)	個	500	495	807
②				
③				
④				
⑤				
数値として出せる実績が得られなかった(下記にその理由と当初の目標と代替する目標あれば記載してください)				
理由及び代替する目標				
R7実績は過去と比べて	<input type="checkbox"/> 向上した <input type="checkbox"/> 例年通り <input checked="" type="checkbox"/> 低下した <input type="checkbox"/> その他	左記とした理由 又は 分析等(向上・低下した要因等): 都の補助1/2が令和6年度でなくなり、市単独予算となったことで、補助個数上限が1000個から500個となったため。		

C) 来年度以降の課題や見直すべき点

※事業の実施を経て、反省・見直しすべきだと思ったことを記入してください。

①	事業廃止後は安全教室等の機会を捉えてヘルメット着用啓発を推進していく。
②	
③	
④	
⑤	

D) 来年(令和8年度)の取組予定

※事務予定または改善事項を記入してください。

①	取組内容	事業廃止
	取組終了時期	

②	取組内容	
	取組終了時期	
③	取組内容	
	取組終了時期	

【予算への反映状況】 ( 8 年 3 月 31 日 時点 )

予算科目	会計	一般	款	2	項	1	目	9	事業番号	2
事業名称	交通安全推進事業									

予算額比較(R7-R8) (単位:円)

※会計年度任用職員に係る経費(報酬等)は記入不要です。

R7予算額(①)		R8予算額(②)		差額(②-①)	
事業費合計	1,000,000	事業費合計	0	事業費合計	-1,000,000
積算根拠		積算根拠		積算根拠	
18 負担金補助及び交付金	1,000,000	18 負担金補助及び交付金	0	18 負担金補助及び交付金	-1,000,000
財源内訳		財源内訳		財源内訳	
一般	1,000,000	一般	0	一般	-1,000,000
国		国		国	
都		都		都	
市債		市債		市債	
その他		その他		その他	

予算額比較に差額が生じたか(変更したか)

<input checked="" type="checkbox"/>	生じた/変更した	<input type="checkbox"/>	生じていない/変更していない
-------------------------------------	----------	--------------------------	----------------

上記の要因/理由

①	事業廃止とするため。
②	
③	
④	
⑤	